



VA線ストリッパ <エボリューション>

■はじめに

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
この取扱説明書は実際に作業をされる方がいつも手元においてご使用下さい。

■用途

ケーブルの表皮（以下、シース）及び心線の被覆（以下、絶縁体）を剥離するための工具です。

■適用電線

記号	JIS規格番号	種類	導体径×心線数
VVF(VA線Fケーブル)	JIS C 3342	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル平形	φ1.6×2心、3心
600V EEF/F(EM-EEF) (エコ電線)	JIS C 3605	600Vポリエチレン絶縁燃焼性ポリエチレンシースケーブル平形	φ2.0×2心、3心

*エコ電線はVVFに比べ剥離荷重が重くなります。

■安全上のご注意

△ 警告

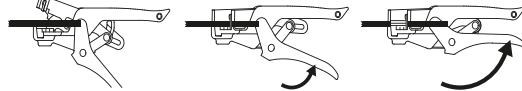
- ①活線には絶対に使用しないで下さい。感電します。
- ②刃は大変鋭利になっております。ケガをするおそれがありますので、直接手指で触れないように注意して下さい。剥離時、刃交換時には必ず保護手袋を着用して下さい。
- ③刃部やその他の可動部品で、指などをはさまないように注意して下さい。

△ 注意

- ①この取扱説明書に記載された使用目的及び仕様範囲内で使用して下さい。工具を改造したり、適用電線以外の剥離にご使用になると工具の故障の原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- ②工具の各部は常に点検を行い、損傷のある状態で使用しないで下さい。

■使用方法

- ①電線を刃にセットする。
「電線のセット位置」参照
- ②ハンドルを軽く握り、刃を電線に噛み込ませる。
- ③ハンドルを最後まで握り、剥離する。



電線のセット位置	電線メーカーによる太さ、硬さのバラつき対応
<p>2心の場合</p> <p>「シース」 外側に寄せる</p> <p>「絶縁体」 刃の溝に添える</p>	<p>調整ダイヤル</p> <p>目盛の基準</p> <p>φ1.6：目盛 3 φ2.0：目盛 2</p> <p>※剥離する電線に合わせて、上記目盛から一目盛ずつずらし、試し剥きを行って下さい。</p> <p>回転</p> <p>刃が滑る場合 = 目盛をUP</p> <p>刃が噛み込む場合 = 目盛をDOWN</p> <p>浅 切り込み 深</p> <p>目盛</p> <p>1 2 3 4 5</p>
<p>3心の場合</p> <p>「シース」 外側に寄せる</p> <p>「絶縁体」 刃の溝に添える</p>	

※ その他注意点、刃の交換方法が中に記載されていますので、ご使用前に必ずご覧下さい。



株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
(059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp



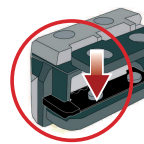
4 989065 112797

MCC

VA線 ストリッパ **右利き用**

電気工事士技能試験 必携工具

Point 2



業界No.1

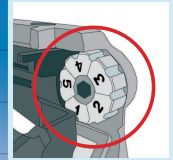
プロから受験者まで納得の一丁

4 VA線 (VVF)
エコ電線
(600V EEF/F)

サイズ対応

φ 1.6 × 2心
φ 1.6 × 3心
φ 2.0 × 2心
φ 2.0 × 3心

Point 1



調整ダイヤル採用
心線のキズ付き防止
& 材料硬さのバラつきに対応

面倒な替刃交換時の調整が一切不要
スライドガイド機構搭載

Point 4

剥離荷重 (前モデル比)

30% 減

Point 5

折り畳み用
フック付
工具箱・腰袋に
スッキリ収納

Point 3



シース用 & 絶縁体用
目盛り付
剥ける長さが
一目瞭然

日本製

品番 VS-R1623

■ ハンドル操作の注意点

シースの剥離

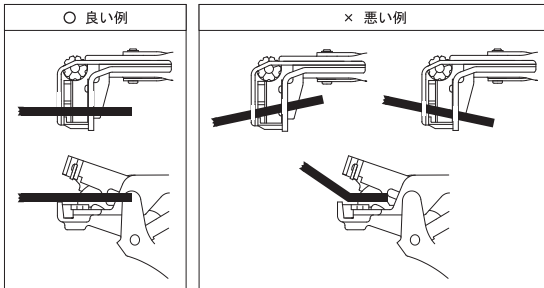
ハンドルを軽く握り、シースに刃を噛み込ませた後、**ハンドルを素早く** 握ってシースを剥離して下さい。

絶縁体の剥離

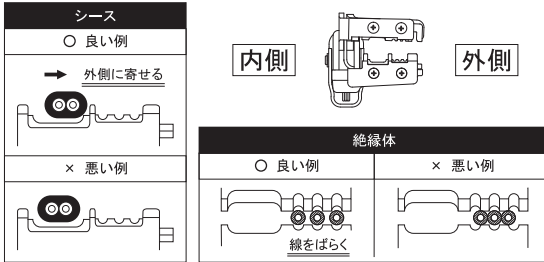
ハンドルを軽く握り、絶縁体に刃を噛み込ませた後、**ハンドルをゆっくり** 握ってシースを剥離して下さい。

■ 電線をセットする際の注意点

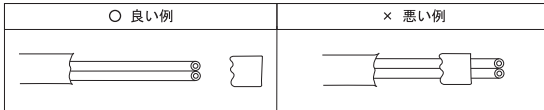
1) 電線は工具に対してまっすぐセットして下さい。



2) シース、及び絶縁体を刃に正しくセットして下さい。



3) 剥離したシースは完全に抜き取ってから、絶縁体の剥離を行って下さい。



■ その他の注意点

- 1) 刃の位置は正しく取付けられた状態でも左右にずれた様に見えます(右図参照)。電線を剥離する際に溝が合う構造になっています。
- 2) 剥離した絶縁体などのゴミが工具に挟まった場合はゴミを取り除いて下さい。そのまま使用しますとハンドルが動かなくなる場合があります。
- 3) 工具の動きが悪くなった際は可動部に注油を行う等のメンテナンスを行って下さい。
- 4) 工具を落下させる等、大きな衝撃を加えると部品が変形し工具が機能しなくなる恐れがあります。工具に大きな衝撃を加えない様、注意して下さい。

注 各注意点を守ってご使用下さい。注意点を守らずに使用されますと電線の剥離ができなかったり、心線に傷が付く事が考えられます。

中面もご使用前に必ずご覧ください。

■ 替刃の交換方法

「注意」

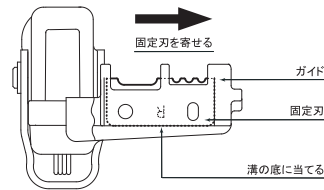
- ・ プラスドライバーは小ネジに合ったサイズ「No. 2」を使用して下さい。
- ・ 小ネジを必要以上にきつく締め付けるとネジ山が潰れる恐れがあります。適度な力で垂直に押し付けながら締め付けて下さい。
- ・ 下記手順を守らずに作業されますと電線が剥離できなかったり、心線に傷が付く事が考えられます。

1) 刃の取り外し

- 各小ネジを緩め、工具に取り付けてある刃、ガイドを取り外します。

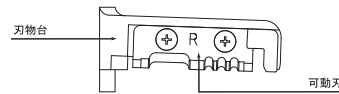
2) 固定刃とガイドの取り付け

- 固定刃、ガイドは必ず溝の底に当ててください。
- 固定刃はガイド内の外側(矢印方向)に寄せて取り付けして下さい。

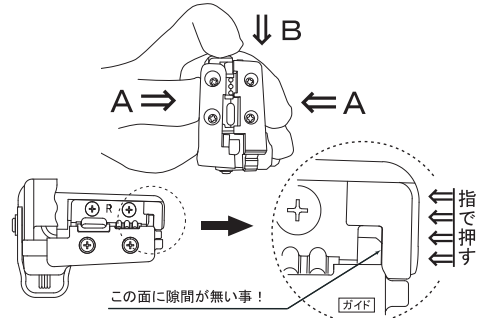


3) 可動刃の取り付け

- 可動刃を刃物台に取り付け、小ネジを軽く締め付け、仮止めして下さい。



- 下図のように固定刃と可動刃を寄せ合い(A方向)、刃物台と可動刃を指で同時にガイドへ押さえつけた状態(B方向)で小ネジを締め付け、固定して下さい。



■ 替刃の交換時期

刃は消耗品です。下記の場合は刃の交換を行って下さい。

- ・ 刃こぼれ、刃欠けが発生した場合
- ・ 切れ味が悪くなった場合

注) ハンドルが重い状態で無理やり操作する等などの使い方をした場合、刃の寿命は短くなります。

替刃をお買い求めの際は「VSR1623」とご指定の上、販売店などにご注文下さい。